

科目名	DTM制作Ⅲ		担当講師	中村未央/作山 厚	
講師実務経験	DTM講師				
対象学年	2 学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	54 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	Cubaseの応用操作と楽曲のアレンジ方法を学びクオリティーの高い楽曲制作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月7日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-1			
2	5月8日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-2			
3	5月9日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-3			
4	5月10日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-4			
5	5月13日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-5			
6	5月14日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-6			
7	5月15日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-7			
8	5月16日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-8			
9	5月17日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-9			
10	5月20日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-10			
11	5月21日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-11			
12	5月22日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-12			
13	5月23日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-13			
14	5月24日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-14			
15	5月27日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-15			
16	5月28日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-16			
17	5月29日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-17			
18	5月30日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-18			
19	5月31日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-19			
20	6月3日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-20			
21	6月4日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-21			
22	6月5日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-22			
23	6月6日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-23			
24	6月7日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-24			
25	6月10日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-25			
26	6月11日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-26			
27	6月12日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-27			
28	6月13日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-28			
29	6月14日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-29			
30	6月17日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-30			
31	6月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-31			
32	6月19日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-32			
33	6月20日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-33			
34	6月21日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-34			
35	7月1日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-35			
36	7月2日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-36			
37	7月3日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-37			
38	7月4日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-38			
39	7月5日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-39			
40	7月8日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-40			
41	7月9日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-41			
42	7月10日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-42			
43	7月11日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-43			
44	7月12日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-44			
45	7月16日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-45			
46	7月17日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-46			
47	7月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-47			
48	7月19日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-48			
49	7月22日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-49			
50	8月19日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-50			
51	8月20日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-51			
52	8月21日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-52			
53	8月22日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-53			
54	8月23日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-54			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	162時間中 55時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞		担当講師	吉田佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース ベースコース/ドラムコース 作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	10 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	作詞のスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月13日	テーマと素材について			
2	5月20日	1番の構成			
3	5月27日	2番の構成			
4	6月3日	タイトルの付け方			
5	6月10日	心情を情景で表現する			
6	6月17日	積み上げ法			
7	7月1日	音数率			
8	7月8日	推敲・言葉の重複について			
9	7月22日	体言止め			
10	8月19日	倒置法			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	30時間中 11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	編曲Ⅲ			担当講師	谷津祐子		
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース ベースコース/ドラムコース 作曲・DTMコース/総合コース		授業形態	実習
期間	前期	総授業回数	11	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
前期	1年次で修得した基礎知識を発展させ、楽曲分析や編曲を実践できる力を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	5月7日	授業ガイダンス					
2	5月14日	ボーシングとアレンジ1					
3	5月21日	ボーシングとアレンジ2					
4	5月28日	ボーシングとアレンジ3					
5	6月4日	楽曲分析とアレンジ1					
6	6月11日	楽曲分析とアレンジ2					
7	6月18日	楽曲分析とアレンジ3					
8	7月2日	総合的なアレンジ1					
9	7月9日	総合的なアレンジ2					
10	7月16日	総合的なアレンジ3					
11	8月20日	まとめと復習					
12							
13							
14							
15							
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	授業内で随時プリントを配布します						
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	楽曲分析			担当講師	作山厚
講師実務経験	DTM・ベース講師経験 / 楽曲配信・BGMサイト楽曲提供				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
前期	楽曲がどのような構成・音色・アレンジによって成り立っているか修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-1			
2	5月15日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-2			
3	5月22日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-3			
4	5月29日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-4			
5	6月5日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-5			
6	6月12日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-6			
7	6月19日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-7			
8	7月3日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-8			
9	7月10日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-9			
10	7月17日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-10			
11	8月21日	楽曲の構成・音色・アレンジを知る-11			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	11時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論Ⅲ				担当講師	森本信	
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネージメントほか						
対象学年	2	学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義	
期 間	前期	総授業回数	11	回	1回あたりの授業時間	90	分
期	修 得 目 標						
前期	スタジオ録音・音楽業界のシステムを習得するを修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	5月8日	講義内容ガイダンス					
2	5月15日	音楽業界のシステム／演習問題小テスト					
3	5月22日	音楽業界の歴史とビジネス／演習問題小テスト					
4	5月29日	音響学音響物理基礎の復習とアドバンス／演習問題小テスト					
5	6月5日	電気音響の復習とアドバンス／演習問題小テスト					
6	6月12日	電気音響機器の復習とアドバンス／演習問題小テスト					
7	6月19日	録音手法の復習とアドバンス／演習問題小テスト					
8	7月3日	ミキシング技法／演習問題小テスト					
9	7月10日	音楽著作権／演習問題小テスト					
10	7月17日	JAPRS検定試験対策					
11	8月21日	JAPRS検定試験解説					
12							
13							
14							
15							
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	22時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	ProTools実習Ⅲ		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務□				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習□
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	ProToolsの基本的な操作、概念をマスターしエンジニアとして必要なスキルを修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	編集モード:グリッド・スプリットの機能の使用用途			
2	5月16日	編集モード:編集ツールの拡張機能の使用			
3	5月23日	トラックグループ・VCAトラックの機能			
4	5月30日	オートメーション機能:タッチ、ラッチを使い作品に的確に反映させる			
5	6月6日	プラグインの複数機能:プラグインを使用しての調整			
6	6月13日	クリップゲインの適切な使い方			
7	6月20日	バウンス、コミット、フリーズ機能の使用			
8	7月4日	プレイリスト機能の使用			
9	7月11日	ワークスペースブラウザの管理・ライブラリーの使用			
10	7月18日	サイドチェーン・キー信号の使用			
11	8月22日	ミックス素材を使い作品を完成させる			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布□				
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(新入生歓迎ライブ前)		担当講師	曾山良一/田森正行/中田有紀/木村佳子/永盛岳生/中村未央/作山厚	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/DTMコース/総合コース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	イベント実施に向けて連続的にイベント準備を進める事で、より実践的に知識や技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1と楽曲制作1			
2	4月16日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2と楽曲制作2			
3	4月17日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3と楽曲制作3			
4	4月18日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4と楽曲制作4			
5	4月19日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5と楽曲制作5 サウンド・ステージ&ミュージシャン合同リハーサル日			
6	4月22日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6と楽曲制作6			
7	4月23日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7と楽曲制作7			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(定期公演前)		担当講師	曾山良一/田森 正行/中田有紀/木村佳子/永盛岳生/中村未央/作山厚	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/DTMコース/総合	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	各コース間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	9月2日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1と楽曲制作1			
2	9月3日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2と楽曲制作2			
3	9月4日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3と楽曲制作3			
4	9月5日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4と楽曲制作4			
5	9月6日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5と楽曲制作5			
6	9月9日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6と楽曲制作6			
7	9月10日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7と楽曲制作7			
8	9月11日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン8と楽曲制作8			
9	9月12日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン9と楽曲制作9			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	54時間中19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				